

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	現代思想		
科目基礎情報							
科目番号	0017		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	専攻科 一般	産業技術システムデザイン工学専攻	対象学年	専2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	適宜プリントを配布する。						
担当教員	田村 歩						
到達目標							
現代における哲学的・倫理的な諸問題を検討することで、ものごとを多角的に検討する能力を涵養する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	倫理・環境・技術などに関して現代社会において問題たりうところを正しく理解し、説明することができる。		倫理・環境・技術などに関して現代社会において問題たりうところを正しく理解することができる。		倫理・環境・技術などに関して現代社会において問題たりうところを正しく理解することができない。		
評価項目2	一つの事からについて、自力で、複数の観点から検討することができる。		一つの事からについて、自らの見解と他者の見解を比較・検討することができる。		一つの事からについて、固定された見解しかもちえない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (E) (チ)							
教育方法等							
概要	現代における哲学的・倫理的な諸問題を検討することで、ものごとを多角的に検討する能力を涵養する。具体的には、科学・技術・医療・経営・環境等に関する実際的な諸問題を理解し、それらについての説得的で重層的な議論を行うていく。						
授業の進め方・方法	本授業は、基本的には講義形式で行われる。受講の際には、言及される事からについての一問一答的な暗記に終始するのではなく、一つの哲学的な見解が提示されるに至るまでの過程を重視してもらいたい。						
注意点	既存の知識や常識、他者の見解に無批判に追従しないこと。自分の見解に固執して他者の見解を根拠なく排斥しないこと。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	哲学と学問との関係について 哲学と宗教との関係について	右の問題について理解し、議論を辿る。			
		3週	哲学と科学との関係について	同上。			
		4週	人間とは何か? (私) とは何か?	同上。			
		5週	この世界は本当に三次元であるか?	同上。			
		6週	意識は存在するか? それとも幻か?	同上。			
		7週	自由意志は存在するか? それとも幻か?	同上。			
		8週	ウソをつくことは悪であるか?	同上。			
	4thQ	9週	多数を救うために小数を犠牲にすることは許されるべきか?	同上。			
		10週	実存主義について (1)	同上。			
		11週	実存主義について (2)	同上。			
		12週	生命倫理について 経営倫理について	同上。			
		13週	構造主義について	同上。			
		14週	予備日あるいは総括				
		15週	(期末試験)				
		16週	答案の返却および解説				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100